

Libra I on 10

<http://www.libra-sc.jp/>

vol.

りぶらいおん

特集：森下芳則氏講演録概要

「いい街づくり 役立つ図書館」をめざして（元田原市図書館長）

今年のりぶらまついは
11月13日・14日
実行委員会が
動き始めました!!

「りぶらいきもの
みつけ隊」発足!!

りぶらでボランティア
をしよう!!

Libra I on 庭で遊ぼう りぶら交差点 講演会&フォーラム 岡崎図書館未来企画 ホームページ制作HAPPY! パパ りぶらグッズ作り 外国人の日本語を歌うのど自慢大会

Let's

りぶら
サポーター
クラブ
2010

stage!

ネットドリブル りぶら ボランティア 音心会 りぶら市民セミナーの実践的研修 りぶら利用者行動観察のシステム化 りぶらまつり りぶらを活用

りぶらサポータークラブ事務局（岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内）TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142 info@libra-sc.jp



岡崎市図書館交流プラザ

図書館交流プラザ（愛称：Libra）は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。

りぶらサポータークラブ(LSC)は、Libraの施設活用をサポートする活動をしています。

森下芳則氏講演録概要

「いい街づくり 役立つ図書館」をめざして

5月22日（土）

14:30～16:20

会議室301・302

プロフィール：1973年昭島市民図書館員として働き始め、1977年から日野市立図書館勤務。1999年から田原町生涯学習センター建設準備室で新図書館の準備に当たる。2002年田原町図書館長（2003年からは田原市図書館）に就任し、2010年退職。現在は嘱託として、田原藩日記の翻刻事業に携わっている。

図書館一筋

大学を出て、37年間図書館で過ごしてきました。図書館のことしか知らない人間ですが、公共図書館の役割と、市民との協働について考えたことをお話ししたいと思います。

東京から田原へ

最初に勤めた昭島市図書館では、病院サービスを担当して、待合室や廊下に本を並べ、患者さんや付き添いの人に利用してもらいました。そして、さらなる働きがい求めて、昭島市から隣の日野市の図書館に勤務先を替えました。

日野市立図書館は、市民の身近にサービスポイントを置き、市民の求める資料が必ず入手できる仕組みを構築し実践したことで、日本の公共図書館のあり方に大きな影響を与えました（※1）。

しかしその図書館も、20年も経過すると人の入れ替わりがあり、組織の質が変わってきます。市民の要望に応え、気持ちよく利用できる施設にしたい、という思いが通じなくなってきました。日常の仕事に埋没し、何のため、誰のための図書館かということが意識されなくなりました。

日野市の図書館は、活字文化を大切にしますが漫画はいらぬという考え方に変わったりして、地域の変化や市民の期待



に応えられない図書館活動に失望しました（※2）。「そんなに入れたかったら、あなたが館長になってから入れたら」と言われまして、さらに決定的だったのは、社会の変化や利用者の求めに鈍感になって、臨機応変に利用者に対応せず、図書館員として非常に恥ずかしい思いをしました。それで、田原に来ることになったわけです。

まちづくりと田原市図書館

田原町図書館の開館準備をしていたときに、市民から求められたことが2つあります。一つは「ノーベル賞をもらえるような人を育ててほしい」といわれました。図書館ができれば、本を読む裾野が広がります。知的な人が増えると、ノーベル賞をもらえるような人も育つかもし

れません。

もう一つは「図書館の利用者は、どれくらい買い物をしてくれるのか」ということでした。これは、図書館員として今まで考えたこともなかったことです。地方にきて図書館をやるということはこういうことだとわかりました。資料の提供という役割だけでなく、結果として集客力のある図書館として、「人づくり」と「街の活性化」の役割も果たさなければならぬということです。

平成19年度の田原市総合計画の施策についての市民意識調査では、「図書館の充実」が1位でした。駅前で、他市の見学者から図書館の事を尋ねられた市民が、「田原の図書館は日本一だからぜひ見ていってください」といってくれるのです。これは最高の評価ですね。

田原市図書館の職員は、すべて司書の資格を持っています。田原市図書館が効果的な図書館運営を行っている最大の理由は、有能でモチベーションの高い専門職員の存在にあります。専門職員は、現場での経験を積み重ねることによって、判断力や処理能力をさらに高めることができます。

普通「専門性」というと、狭い範囲で深く知っていることを意味しますが、図書館員（司書）の専門性は、幅広くなければ専門的であり得ないという特徴があります。まったく目的のちがう図書館利用者を、個々の目的に応じて案内できることは別の次元の専門性なのです（※3）。

田原と岡崎の相違点

岡崎市と田原市の図書館で、それぞれに似ているところと違っているところがあります。

まず、似ているところは、複合施設であるということですね。田原の図書館は、文化会館と体育館があったところの駐車場に図書館が併設され、施設をつなぐ部分がフリースペースとして、市民活動支援センターの役割を果たしています。そして、建設時に市民の関心が高く、市民の意見を聞きながら開館の準備が進められたことです。

違っている点の一つは、田原町にはそれまで小さな図書室しかなかったということです。それで、町の方で素人が図書館運営をするのは無理と判断され、専門家を館長に呼ぶことが決まりました。もう一つは、岡崎市はカウンター業務を委託されていますが、田原は委託をせず、1/3が正規職員、2/3が嘱託で運営されているということです。

図書館は誰のために何をするのか

私は図書館員として働く上での重要なセオリーは3つ4つで十分だと思っています。

1. 公共図書館の基本的機能は、資料を求めるあらゆる人々に、資料を提供することである。
2. 公共図書館は資料に対する要求に応えるだけでなく、資料に対する要求をたかめ、広めるために活動する。
3. 公共図書館は、全住民がどこに住んでいようと、もっとも効果的な方法でサービスを受けられるようにすべきで

ある。

4. 公共図書館は、利用者の求める資料は、原則としてどのようなものでも提供する。

さらに付け加えれば、

1. 資料の提供という公共図書館の基本的機能は、貸出しとレファレンスという方法で現れる。
2. 貸出しには、資料を貸出すことほかに読書案内と予約サービスを含む。

以上は、すべて1970年出版の『市民の図書館』に書かれていることです。

図書館長としての最も重要な仕事は、仕事を進めていく上で、このような価値観を共有してもらうことです。そして、住民によってそのサービスが、適切に評価されなければなりません。



利用しやすい図書館をめざして

【施設】

田原市図書館は、100年使える図書館として建設されました。100年後の図書館を想像してみてください。そこを利用する人々の、記憶の一部になっていくということです。市民は誰も、自分の住む街をよくしたいと思っています。その気持ちの元になるのが、住民が共有する記憶です。「日本一の図書館です」と、自分の街に誇れるものがあるという満足感が大事です。

【働きがいのある職場を作つくること】

以前の職場では、うれしそうに仕事をする職員が減りました。職場で本の話をもっと聞かなくなりました。どうすれば、もっと意欲的に取り組んでもらえるのでしょうか。それにはやはり、ちゃんとした研修が必要です。何のために図書館があるのかを知ることです。意欲と能力を持った図書館員は、公共の財産なのです。

そういう職員や雇用条件の確保（報酬額と雇止めをしないこと）と資料費の確保をすること、働きがいのある職場を作つていくことが私の仕事でした。いわゆるマネジメントですね（※4）。

【運営の工夫】

図書館資料で重要なのは、蔵書数ではなく、質（利用者のニーズにこたえる資料群）です。利用者が直接手に取る開架資料には、とりわけ新鮮さと利用者ニーズが重要な要素となります。資料は生鮮食品、いわゆる「ナマモノ」です。いま生きている資料を提供できることが重要です。

先駆けて何かをやるということには全く興味はありませんが、インターネット環境の整備で、プリンターと無線LANの導入はゆずれませんでした。欧米では、当たり前前にプリンターが使えます。同じ国際条約に基づく著作権法なのに、解釈の仕方が違うんですね。私たちも利用者も主体なんです。守るべきところは守りながら、変えるべきところは変えていく姿勢が、社会を変えていくのです。

市民と図書館員の協働

私は市民の皆さんから、多くの力をいただきました。「図書館がほしい」という住民の声があって、図書館ができたのです。施設のプランから完成までの「情報ひろば」で、住民と設計者に混ざって図書館を考えることで、本当に大きな力を得ることができました。

開館後は住民と職員という関係になり、図書館の行う業務（資料の情報提供）に発生するプライバシーポリシーの順守が、ボランティアに求められます。

実は、ボランティアを受け入れることは簡単なことなのです。しかし、ボランティアの受け入れは、対症療法にはなっても運営の体づくりにはなりません。マネージャーとしては、いろいろな対応に備えるために、まず、職員を増やすこと（体力をつけること）をしなければなりません。

しかし、職員とボランティアがお互いの立場を理解しながら、図書館という街の財産を大切に育てていくという、共通の目的を共有することはできると思っています。

（※書籍紹介→）

森下氏の講演会の中で紹介された書籍

※1 『図書館戦争』(有川 浩:著 メディアワークス)

時は西暦2019年、公序良俗を乱し人権を侵害する表現を取り締まる「メディア良化法」(実質上の検閲の合法化)が施行された世界。強権的かつ超法規的にメディア良化法を運用する「メディア良化委員会」と、その実行組織「良化特務機関」の言論弾圧に唯一対抗できる存在が図書館だった。かくして図書館は表現の自由を守るために武装し、良化特務機関との永きに渡る抗争に突入することになる。(Wikipediaより)

森下氏の勤めていた日野市立図書館が、闘争のきっかけとなった舞台として登場する。



※2 『坊っちゃんの時代』(谷ロジロー:著 関川夏央:原作 アクションコミックス)

一般には痛快な読み物として受け入れられている『坊っちゃん』は、文明開化という大きな時代の流れに付いて行けなかった者の悲劇だとする関川独自の発想を基に、『坊っちゃん』を執筆していた当時の夏目漱石を中心として、明治の文学者たちや世相を描いた作品である。全5部構成。第2回手塚治虫文化賞マンガ大賞受賞作品。(Wikipediaより)

図書資料として貴重な作品だが、漫画ということで、市民からのリクエストに答えられなかった。



※3 『図書館であそぼう—知的発見のすすめ』(辻 由美:著 講談社現代新書)

この大量情報の時代にあっても、公共図書館は、幼児には絵本を、思春期の少年・少女には心の糧となる本を、学ぶ人たちには知識を獲得する手段を、高齢者には人生が味わえる本を、社会人には生活や職業の手段を、というふうに、あらゆる社会層にもっともベーシックな情報を提供できる施設であってほしい。生活のなかで何かの問題をかかえたとき、まず公共図書館に行けば、無料で基本的な情報が得られる、そんな場所であってほしい。(本文より)

花の名を求めて東京からパリへ。調べだしたら図書館めぐりは止まらない。情報検索のヒント・レファレンス利用のコツ満載のわくわくエッセイ。



※4 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』(岩崎夏海:著 ダイアモンド社)

公立高校野球部のマネージャーみなみは、ふとしたことでドラッカーの経営書『マネジメント』に出会います。はじめは難しさにとまどうのですが、野球部を強くするのにドラッカーが役立つことに気がきます。みなみと親友の夕紀、そして野球部の仲間たちが、ドラッカーの教えをもとに力を合わせて甲子園を目指す青春物語。家庭、学校、会社、NPOなど、人が集まっているすべての組織で役立つ本。(「BOOK」データベースより)

今話題の、ドラッカーを題材にしたマネジメント実践小説。



内田修ジャズコレクションを語る

市民活動総合支援センター所長 小柳英二

市制70周年記念事業として開催された「葵博-岡崎 '87」の岡崎市側担当者として、メインイベントにジャズフェスティバルのプロデュースを依頼したことから、内田修氏と知り合ったという貴重な経験を持つ小柳所長に、「内田修ジャズコレクションの何がすごいのか?」「コレクションとりづらとの関係」などについて語っていただきました。

「内田修さん（1929年生まれ）とはどういう人か?」ということ、ほんの一言で表現しようとする、「ジャズが大好きな、岡崎市出身のお医者さん」とでもいえるでしょうか。そんな一個人から寄贈されたコレクションを、行政が施設を造って常設展示する。それもジャズという外来文化の音楽ジャンルで…。見方によっては、「なんで岡崎市はそこまでするの?」という声が挙がってもおかしくないですし、実際そんなご指摘を市民の方からいただいたことも、過去にはあります。



ただ、そうした意見の根拠というのは、結局のところ、日本全国の役所を探しても似た例が見当たらない、ということに集約されるのではないかと思います。でも、それもそのはずで、内田さんの活動そのものが、前例のないことばかりなんですよ。

今でこそ、ジャズはラーメン屋でも牛丼屋でも、街中のBGMとして当たり前のように聴くことができ、岡崎ジャズストリートをはじめ、全国各地で開催されるジャズフェスティバルにはたくさんの人が訪れます。でも内田さんがジャズに目覚めた戦後間もなくの頃、ジャズというのは、良く言えばアメリカの新しくカッコいい音楽ではあるけれど、悪く言えば不良の音楽、いわゆるまっとうな人間が関わるべきものじゃない、というような風潮もあったのです。だからジャズミュージシャンといっても、生活に困っていない人なんてほとんどいなかった、特に若い人は。

そんな時代に、内田さんは、自分が魅了されたジャズを、

多くの人に知ってもらおうと、ジャズに関するいろんな活動をしていったんですよ。

まずは、名古屋大学医学部に入学した頃からレコード収集を始めたのですが、この頃、医者の初任給が1万円位だったのに対して、レコードは1枚3,500円というたいへん高価なものでした。コレクターだったら、それを自分で聴くだけで満足して、あとは大事にしまっておくでしょう。でも内田さんは、こんな素晴らしいものは、もっとたくさんの人に聴いて楽しんでもらいたいと思い、レコードコンサートを何度も開催しました。そしてこのことがきっかけで、アメリカ人将校と知り合いになり、出演ミュージシャンでもないのに米軍キャンプに入れてもらい、初めてジャズのライブを聴くことができました。そこで、「ジャズは生（ライブ）で聴くのが一番」と、今現在まで持ち続けている認識を得たんです。

以後、レコードコンサートにライブを取り入れることで、ミュージシャンとの交流が始まったのですが、内田さんは、ミュージシャンのために自分ができることは何かということ、をいろいろ考えたのだと思います。その結果、彼らの演奏を録音し、その音源を聴かせれば、自分の演奏を復習したり、他のミュージシャンの演奏を学んだりできる、と思いつかれたのでしょう。でも当時のテープレコーダーは高価だけでなく、たいへん重くて、個人が趣味で持つようなものではありませんでした。それが、今コレクション展示室に展示されているテープレコーダーで、18kgもあるのですが、内田さんは、それを担いで、夜行列車で東京まで録音に行っていたんです。高柳昌行さん、金井英人さん、菊池雅章さん、富樫雅彦さん、日野皓正さん、山下洋輔さん等の演奏が収録されたレコード「銀巴里セッション」は、日本ジャズ史上に残る偉大なるドキュメントといわれていますが、その音源は、内田さんによって録音されたテープなんです。

(次号に続く)



りぶら中央図書館情報

ご存知ですか？ こんな図書館サービスあります

子ども図書室での「おはなしかい」

子ども図書室は、赤ちゃんから小学生くらいまでの子どもたち、そして保護者の皆さんで、いつもにぎわっています。この子ども図書室の北側奥に、「おはなしのへや」があるのをご存知ですか？

ここでは、紙芝居や読み聞かせ、パネルシアターなどの「おはなしかい」が定期的に行われています。明大寺町の図書館の頃から引き続いて、このりぶらでも、図書館ボランティア団体の皆さんにより、赤ちゃんと保護者のかた向け、もう少し大きい子ども向けなど、参加対象によって趣向や内容を変えて開催していただいています。このほか、図書館スタッフが行う「おはなしかい」や、外国語による読み聞かせ、ストーリーテリング（物語の内容を、テキストを読まずに語る手法）などもあります。子どもに限らず、例えば、これからお父さん・お母さんになる方にも参考になるのではないのでしょうか。たくさんのご参加をお待ちしています。



おはなしかいの様子

「おはなしかい」の日程（対象別）

○赤ちゃんとその保護者向けのおはなし

…毎週火・木曜日11:00～11:30

○おはなしと紙芝居（どなたでも）

…毎週木曜日、第2・4月曜16:00～16:30

毎週土曜14:30～15:00

その他（外国語の読み聞かせ・ストーリーテリングなど）の日程は、
http://www.library.okazaki.aichi.jp/tosho/asp/kid_talk.asp
をご参照ください。

レファレンス事例集⑤

岡崎市立中央図書館でこれまでに受けた資料相談事例を紹介します。

「へえ～、図書館でそんなことがわかるの！」と感動(?)できるネタ満載ですよ。

質問	石工の定義及び石工の使用する道具についての資料が見たい。
回答	石工の定義については『石の匠』のあとがきに「石屋」の種類が載っている。 石工の道具については『石都岡崎 石と共に生きる』P78～81、及び『新編岡崎市史 民俗12』P565～568に記載あり。
プロセス	郷土資料「岡崎学コーナー」の伝統産業の棚で石工業関係（分類：A0589）の資料から探す。また石彫についての資料（分類：A710）も確認。 郷土標目で「石製品・石工業」を検索し、該当の資料をあたる。
参考資料	『石の匠』塚本嘉一著 MBC21 1998年 『石都岡崎 石と共に生きる』岡崎石製品協同組合連合会 1986年 『新編岡崎市史 民俗 12』新編岡崎市史編さん委員会 1988年

国立国会図書館レファレンス協同データベース<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/common.Controller>より

りぶら中央図書館情報

内田修ジャズコレクション展示室情報

「特別展示vol.5名盤を訪ねてーアトランティック」

前期は8月3日（火）まで開催中、後期は8月5日（木）から10月26日（火）まで。

1947年にアーメット・アーティガンとハーブ・エイブラムスンという2人の青年によってニューヨークで創設されたレーベル。設立当時はリズム&ブルース専門レーベルでしたが、アーメットの兄ネスビ・アーティガンが加わり、'55年にジャズ部門をスタートさせます。

当時、マイルス・デイヴィスやアート・レイキーといった超大物はすでにブルーノート等他のレーベルで活躍していたため、アトランティックは若く革新的なミュージシャンを人選して、数多くの秀作を発表し、メジャー・レーベルへと発展していきます。

フリージャズの元祖オーネット・コールマンから白人ジャズ・ヴォーカルの華クリス・コナーまで、人種・スタイル・東西等の垣根と関係なく、多彩なラインナップを擁しているのがこのレーベルの特色です。また、ジャケットのデザインも色とりどりで明るく、斬新かつ多彩な内容を効果的にアピールしています。



試聴コーナーの様子

6月より市内ジャズボランティア団体

「ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム」によるレコードコンサートを開催中。

毎月第2・4土曜日19:00~20:30

詳細は内田修ジャズコレクション展示室スタッフまでお尋ねください。

りぶら映像アーカイブス

岡崎市立中央図書館2階の視聴覚ブースでは、ビデオやDVDなどの館内資料だけでなく、年代別にアーカイブ化された岡崎に関する貴重なニュース・番組映像を視聴することができます。懐かしい映像のなかに、ひょっとして、あなたも登場しているかも？！

紹介映像⑤「岡崎大橋の開通式が行われる」

NHKニュース

放送年：平成4年(1994年)



県道名古屋岡崎線(平針街道)の交通渋滞緩和を目指すバイパスとして、大門地区と北野町を結ぶ岡崎大橋が、この年3月13日に開通しました。全長545.3mで、当時矢作川に架かる橋では最長でした。

映像には、開通を祝して、招待された地元の三世代夫婦十組の皆さんが、オープンカーに乗車してパレードに参加する様子が映っています。

開通当時は二車線の対面通行でしたが、岡崎環状線と国道1号線の接続等の影響による交通量のさらなる増大を受けて、平成15年1月、4車線化されました。

りぶらイベントカレンダー

市主催の事業

こども図書館のイベント 23-3111 444-0059 康生通西4丁目71番地 図書館交流プラザLibra内 子ども図書室			
毎週火曜日	11:00～11:30	おはなし会 赤ちゃんとその家族	■無料・おはなしのもり ころころくまん
毎週木曜日	11:00～11:30	おはなし会 赤ちゃんとその家族	■無料・おはなしのもり ころころくまん ※8月12日(木)は、お盆のためお休みです。
毎週木曜日	16:00～16:30	おはなしと紙しばいの会	■無料・職員
毎週土曜日	14:30～15:00	3歳からの読み聞かせ	■無料・おはなしのもり ころころくまん ※8月14日(土)は、お盆のためお休みです。
第2・4月曜日	16:00～16:30	おはなしと紙しばいの会	■無料・職員
月1回土曜日	13:00～	外国語の読み聞かせ	■無料
第4土曜日	15:30～16:00	ストーリーテリングにおいでよ! 8月は「夏のおはなし会」です	■6歳以上(目安として) ■無料・まほうの豆ほか
7/31(土) 8/1(日)	10:00～15:00	子ども一日図書館司書体験	■小学4～中学3年生対象 ■各日6人 ■7/20必着 往復はがきで(多数時は抽選)
7/23(金)14:00～、25(土)10:00～ 8/2(月)10:00～、8(日)14:00～		夏休み読書相談(各日2時間) 探し方、感想文など本に関する相談にのります	■中学3年生までの児童と保護者 ■参加費不要 ■申込不要
7月23日(金)～8月10日(火)		第13回図書館を使った“調べる”学習賞 コンクール入賞作品展	■どなたでも ■参加費不要
8月6日(金)	14:00～16:30	夏休み科学遊び講座「水の表面」	■7/20必着 往復はがきで(多数時は抽選) ■小学3～6年生 計30名 ■無料
内田ジャズコレクション TEL23-3167 Fax23-3165 メールdr-jazz@m2.catvmics.jp			
毎日2回 10:00/19:30		毎日がジャズ!レコードコンサート ～伝説のドクターズ・スタジオで、ジャズレコードを試聴	■内田ジャズコレクション展示室 ■無料 ■リクエスト用紙に必要事項を記入してスタッフ に申込/メール・ファックス可
毎週第2・4 土曜日 19:00～20:30		市民協働事業 ジャズ音源試聴コンサート 市民活動団体「ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム」がプロ デュースするジャズレコードの試聴コンサート	■小学生以上 ■定員約10人 ■申込:6/8(火)～ メール・Fax・展示室で受付
岡崎むかし館 TEL23-3167 Fax23-3165			
第4木曜日	16:30～17:00	岡崎のむかしばなし・紙芝居	■無料 岡崎むかし語りの会
6/17(木)～9/21(火)		暮らしの道具～今と昔(2)煮る・炊く～ 縄文・弥生時代の土器から昭和40年代ごろ の鍋・釜まで、「煮る・炊く」をテーマに展示	■岡崎むかし館
岡崎市図書館交流プラザの催し 23-3100			
7月2日(金)～ 7月6日(火)	10:00～20:00	りぶらTANABATAサロン ♪ジャズライブ、お面作りワークショップ、 紙芝居、マジックショー、レコードコン サートなど盛りだくさん!詳しくはりぶら HP、チラシをご覧ください。	■りぶらホール ～りぶらのホールが竹林に?!…初夏に現れた 異空間! ■ジャズ各ライブ1,000円 ■主催:岡崎市、岡崎市教育委員会
8/1(日)顔合わせ 9/5(日)～レッスン開始 10/11(祝)ゲネプロ/発表 詳細はHP、チラシでご確認下さい		Libra演劇ワークショップ Libraホールの舞台上に立って演劇の楽し さを体験しよう!	■講師:楠見彰太郎 ■定員30名 ■小学4年生以上 ■小4～高校生3,000円 大学生・社会人5,000円 ■顔写真付申込書(総合受付orDLで)6/25必着
8月8日(日)	①13:00開演 ②15:30開演	井上あずみ&タマトミカ コンサート ～親子で楽しむ音遊び～ ♪さんぽ、となりのトトロ、君をのせて、 うさぎの大脱走 ほか	■りぶらホール ■一般2,000円中学生以下1,000円 ■チケット発売日:4/29～ 図書館交流プラザ総合案内または チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード104-137】
長寿課 23-6837			
7月13日(火)	10:00～11:30	寺子屋☆脳きらり 認知症予防の脳トレーニング・回想法・ ストレッチ	■302会議室 ■講師:臨床心理士ほか ■定員30人(先着順) ■当日会場へ

中央図書館 23-3111 申込先:市内康生通西4丁目71番地			
5月～ 平成23年2月の 毎月第3月曜日	13:30～15:30	図書館講座 「学びながら古文書を読もう！ 翻刻ボランティア養成講座」 講師:高橋利夫氏 (岡崎古文書研究会会員)	■303会議室 ■35人(抽選) ■往復はがきで申込(4/23必着)
りぶら国際交流センター 23-3148 申込先:市内康生通西4丁目71番地			
7月4日(日) 14:00～16:00		ワールドレクチャー(カナダ) 日本語でカナダを紹介	■無料 ■定員40名 ■電話で申込(6/13～)
7月9・16・23日(金) 14:00～16:00		ことばの教室(中国語)	■無料 ■定員18名 先着順 ■電話で申込(6/13～)
7月11日(日) 11:00～13:00		中国料理教室 「水餃子」	■500円 ■定員20人 ■往復はがきで申込(6/25必着)
8月1日(日) 11:00～13:00		中国料理教室 「トマトと卵の炒め物とエビと春雨の ピリ辛」	■500円 ■定員20人 ■往復はがきで申込(7/16必着)
8月8日(日) 14:00～16:00		ワールドレクチャー(ベルギー) 日本語でベルギーを紹介	■無料 ■定員40名 ■電話で申込(7/11～)
8月10日(日) 14:00～16:00		キッズセミナー・ブラジル 子供を対象にしたブラジルの紹介	■無料 ■小学校3～6年生のお子さん対象 ■定員10人(保護者同伴可) ■電話で申込(7/11～)
8月12・19・26日(日) 14:00～16:00		ことばの教室(英語)	■無料 ■定員18名 ■電話で申込(7/18～)
8月22日(日) 14:00～16:00		キッズセミナー・アルゼンチン 子供を対象にしたアルゼンチンの紹介	■200円 ■小学校4～6年生のお子さん対象 ■定員20人(保護者同伴可) ■電話で申込(7/25～)

市民団体の定例活動情報

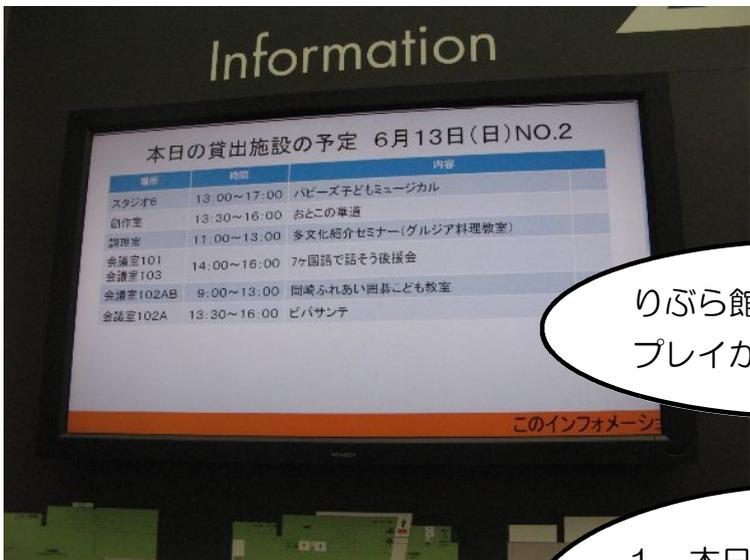
団体名	日時	内容	場所	連絡先
童謡・唱歌の会 はなみずき	月3回金曜日 10:00～	■歌うことの好きな方 初心者大歓迎、お友達づくりに♪	スタジオ1	アクア事務局 080-3615-1349
アロマヨガ	隔週月曜日 10:00～	■香りに包まれてヨガをしよう	スタジオ1	おかざきLOHASの会 柴田090-6597-5588
おとなが楽しむ 朗読の集い	第2・4火曜日 18:30～20:00	■あなたの声を活かして、本を読んでみま せんか	201会議室	■500円(飲物お菓子つき) まみむめもクラブ 築25-5197
気功太極拳	毎週木曜日 10:00～	■始めてみませんか 気功太極拳	スタジオ1	日本健康太極拳協会 岡崎鶴の会21-1658
楊名時太極拳 りぶら教室	毎週火曜日 10:00～11:30	■ゆっくり動き、深い腹式呼吸で気血の流 れを促進し、健康な身体作りをしましょう	スタジオ1	りぶら教室 師範 村松美智子58-3396
日本画研究会	毎週木曜日 14:00～16:00	■日本画、水墨画を描いてみませんか	創作室	日本画研究会 連絡先:稲森52-0719
3Bふれあい ビクス	隔週火曜日 10:30～	■3Bふれあいビクス	りぶら	■未就園児親子 ■電話・ファクスで 森 TEL・FAX55-2274
Photo翔	月1回金曜日 18:30～21:00	■撮影技術の向上、作品の公開	会議室	Photo翔 藤田 45-7797
時事英語学習会	毎週土曜日	■時事英語の学習	りぶら	■月4,000円 電話faxで 杉浦43-6812

その他のイベント情報

LSCの事業です

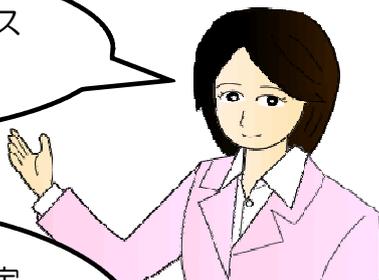
日付	時間	催事名	場所	主催・問合せ先／その他
7月15日(木) 8月19日(木)	10:00～12:30	男の料理教室	りぶら	■1回につき1470円(税込) ■16名 ■NPO法人食育推進ネットワーク・岡崎支部(黒柳) TEL58-8069(FAX有)
7月18日(日)	10:00～12:15	子どものクッキング ■1回につき1200円(NPO会員家族は1000円) ■小学生(各回定員12～16名程度)	調理室	■NPO法人食育推進ネットワーク・岡崎支部(黒柳) TEL・FAX 0564-58-8069 ■E-mail kei9687@mountain.ocn.ne.jp
7月6日(火)	10:30～11:30	親子で楽しむおもちゃ作り ■500円 ■0～3才までのお子様と保護者10組(先着順)	和室	■受付6/10～7/5 ■市民活動センター内 りぶらっこ☆ふぁみりー 23-3114
7月10日(土)	10:00～12:00	りぶら いきものみつけ隊 自然観察会&指導者募集体験会	302 会議室	■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ 23-3114
7月12日(月)・ 8月10日(火)	10:00～11:00 11:00～12:00	りぶら周辺の草取り:りぶらエントランス ボランティア交流会:活動コーナー	りぶら	■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ 23-3114
7月13日(火)	10:00～11:30	寺子屋☆脳きらり	302 会議室	■30名(先着順) ■当日会場へ ■長寿課TEL23-6837
7月16日(金)	18:30開場 19:00開演	Musical Flower ～ミュージカル名曲の花束～	ホール	■入場料(全自由席) <前売> 一般2000円、中学生以下1000円 <当日> 一般2500円、中学生以下1500円 ■SOUND麻未 TEL090-6519-0360
7月17日(土)	10:00～12:00	読書会 たからじま 「ピーパー族のしるし」 「ぼくだけの山の家」	102A 会議室	■志賀 TEL0564-52-5373 ■本多 TEL0564-53-3974
7月18日(日)	14:00～15:30 開場13時	「岡崎 家康公検定」記念講演会 三河 岡崎と家康公	ホール	■定員270名(定員を超えた場合は抽選) ■無料 ■往復ハガキで申込(6/30必着) 岡崎市役所観光課「検定記念講演会」係 TEL0564-23-6471
7月18日(日)	講演会 13:30～15:00 質疑応答 15:00～15:30 予定	いのちの博覧会～「誕生」いのちをありがとう～ 吉村医院・お産の家院長 吉村正 講演会 「いのちのために、いのちをかけよ」	301～ 303	■無料 ■定員100名(予約優先) ■主催:いのちの博覧会実行委員会 申込:090-3564-3416(水野)
7月18日(日)	10:00～12:15	子どものクッキング パン作りに挑戦!(持ち帰ります)	調理室	■小学生定員12～16人程度 ■1,200円 ■NPO法人食育推進ネットワーク岡崎支部 黒柳58-8069
7月17日(土) 8月28日(土)	13:30～16:30	第2回りぶらまつり実行委員会 第3回りぶらまつり実行委員会	3階 会議室	■問合せ:りぶらまつり実行委員会 23-2888(まち育てセンター・りた内)
7月24日(土)	13:30～15:30	子どもりぶらツアーと 施設案内ボランティアガイダンス	301と りぶら内	■小学生親子20名 ■ボランティア10名 ■先着順 ■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ 23-3114
8月6日(金)	14:00～16:45	市民セミナー:しゃべり場	303	■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ 23-3114
8月9日(月)	17:30～開場 18:00～開演	韓国伝統芸術公演 韓国伝統の音楽と舞踊を披露	ホール	■4,500円(前売4,000円) ■チケットぴあ他で販売 ■李慶美韓国伝統舞踊保存会 052-223-0878
8月19日(木)	13:45開場 14:00上映	第6回 シネマ・ド・りぶら 映画上映会 『小林サッカー』 13:15から番号札を配布します	ホール	■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ 23-3114

岡崎市図書館交流プラザ 掲示板のご案内



今日は何をやってるの？
会場はどこだっけ？
今何時？

りぶら館内の、案内ディスプレイがお教えます。



1. 本日の貸出施設の予定
2. 時計
3. おはなしかいのおしらせ



掲示ディスプレイが設置してある場所は、以下の4箇所です。

- ① 2階東出入口付近
- ② 1階東出入口付近
- ③ 2階北出入口付近
- ④ 1階お堀通りエスカレーター乗降口付近

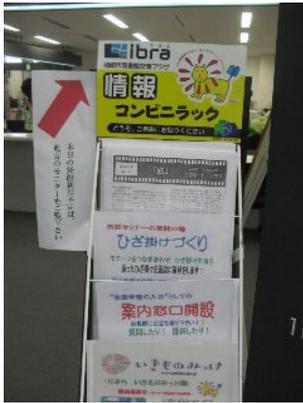
施設を利用する主催者の方に承諾いただいた催事について、会場の場所、利用時間（または催事時間）、催事名などを掲示していますので、図書館交流プラザにお越しの際はぜひご活用ください。





情報コンビニラック

2階東口のディスプレイの横には、りぶらサポータークラブの「情報コンビニラック」が設置されています。ディスプレイに表示される催事のチラシなどが設置されていますので、ご利用下さい。



ボランティアを育む会 (山田美代子)

りぶらの中で「ボランティアをしたい人」と「ボランティアを求める団体や行政」などをつなぎ、市民活動を活発にするための事業です。講座や交流会の開催やニーズの掘り起こし、ボランティア希望の聞き取りなどを行います。また、ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、マネジメント力を強化していきます。市民活動センターとの連携を取り、ボランティア登録・依頼登録のシステム化とボランティアのマッチングをすすめていきます。

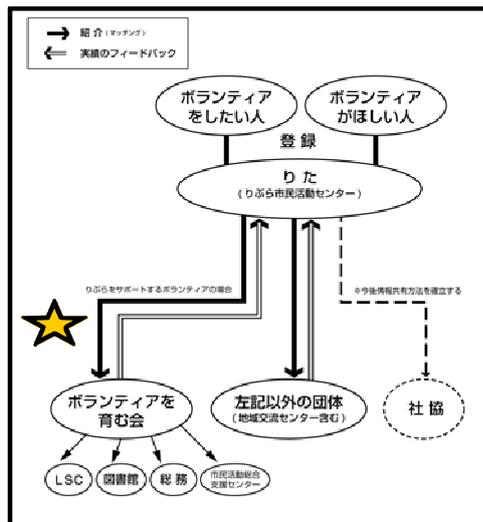
書架整理ボランティア



りぶら周辺の草取りを行いました

今年度の予定

- ・「図書館未来企画」アンケート調査補助
7月9日(金)・11日(日)・13日(火)
- ・草取り&交流会 10:00~12:00
7月12日(月)・8月10日(火)・9月14日(火)
- ・子ども向けりぶらツアー&施設案内ボランティアガイダンス
7月24日(土) 13:30~15:30 会議室301
- ・ボランティアマネージャー養成講座
9月30日(金) 午後 会議室301
- ・りぶらまつりでのボランティア
11月13日(土)・14日(日)
- ・図書館書架整理 随時
- ・りぶらサポータークラブ「広報」手伝い 隔月下旬
- ・「シネマ・ド・りぶら」手伝い 隔月
- ・その他(依頼があり次第マッチング)



多くの方がボランティアとして「りぶら」に関わってくださることを期待しています。詳しくは、LSC事務局(市民活動センター内) TEL:23-3114にお問合せください。

また、月・火・金曜日の午後には、LSCスタッフがりぶら活動コーナーにおります。お気軽におたずねください。お待ちしております。

読み聞かせボランティア 「おはなしの森」 文部科学大臣賞受賞

りぶら中央図書館で、毎週火・木・土曜日に子どもたちに読み聞かせをしているボランティア団体「おはなしの森」(代表 木戸玲子)が、長年の活動を認められ文部科学大臣表彰を受けました。

「おはなしの森」には、中央図書館のおはなしの部屋で読み聞かせをしている「ころころくまさん」と、シビックセンターの図書室で読み聞かせをしている「コロポックル」、ストーリーテリングをしている「まほうの豆」が参加しています。2002年に発足し、現在189人のボランティアが活動しています。中央図書館のおはなし

の部屋では、火・木曜日に未就園の子どもたちに、土曜日に3歳以上の子どもたちに、毎回4人の担当者がプログラムを組んで読み聞かせをしています。お母さんやお父さんに連れられた子どもたちは、目を輝かせながら聞いてくれます。担当者は、子どもたちに本の楽しさを伝えるため、子どもたちと楽しみながら活動を続けています。

庭で遊ぼう (杉浦仁美)

りぶらサポータークラブでは、生物多様性センターの「いきものみっけ」事業に賛同し、りぶら周辺でいきものをみつける活動を進めることにしました。今年度3～4回の、いきもの観察会を予定しています。まずは、「りぶら いきものみっけ隊」に入隊してください。リーダーも募集しています。

申込金：500円

「いきものみっけ手帳」や副読本・資料等をお渡しします。随時参加可能!!

申込は、市民活動センターへ。



実物大

← 会員証の缶バッジをもらえますよー！

次回活動日は、7月10日(土)10時から12時。

参加自由、会議室302集合。

りぶら周辺のいきものに詳しい指導者(大人)の募集体験会も同時開催！

チーム HAPPY! パパ (斎藤美紀)

「パパの子育てをHAPPYに！」と応援するチームが結成されました。名づけて「チーム HAPPY! パパ」。夏休みの自由研究にぴったりな“パパと一緒にいきものみっけ”、日常に使える“子どもにやる気を伸ばす言葉掛け”、“ピザの生地からソースまでこれで簡単バッチリ“ピザ作り”、避けては通れない性の話など、パパの子育てを具体的に応援します。パパとお子様、一緒に来て下さいね！

- ① 8月22日(日) 10時～12時 ●パパと一緒にいきものみっけ(夏休み親子プログラム)
- ② 9月19日(日) 14時～16時 ●勇気づけで子どものやる気を伸ばそう！(パパ講座Ⅰ)
・いきものの絵本の紹介(子ども講座Ⅰ)
- ③ 10月 2日(土) 10時～14時 ●ピザに挑戦！(親子パン教室)
- ④ 10月30日(土) 10時～12時 ●性教育講座
・ねえパパ私はどこから生まれたの？って聞かれたら？
・いきものの絵本の紹介(子ども講座Ⅱ)

パパとお子さま一緒に、りぶらにレッツゴー！！

■定員■：①20組 ②パパ30人・子ども20人 ③15組 ④パパ30人・子ども20人

■参加費：①②④無料 ③1500円材料費

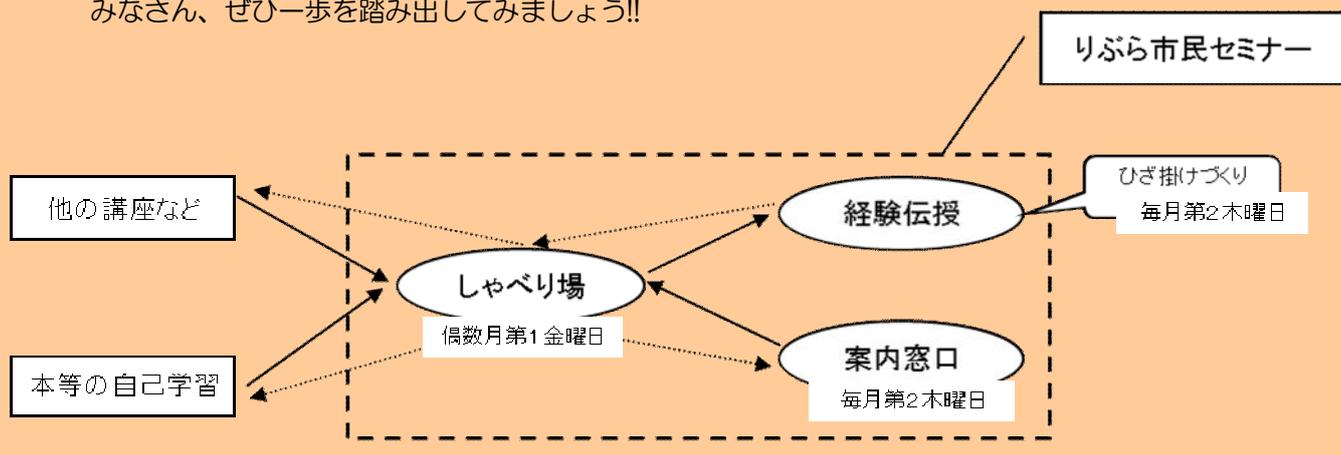
■参加申込み：市民活動センターへ、TEL・FAX・直接のいずれかで、①講座名、②パパの名前・子どもの名前、③連絡先をお知らせ下さい。定員になり次第締切ります(4回連続参加優先、単発参加は定員に空きがある場合のみ)。

りぶら市民セミナーの実践的研究 (森 和弘)

まず“案内窓口”から、「りぶら市民セミナー」をのぞいてみてください!!

生涯学習モニターセミナー参加の一般市民から、
「りぶらで何ができるのか解らない?」「サポータークラブで何ができるのか解らない?」
という意見から思いついた“案内窓口”が、
今や市民の「迷えるシニア」の生涯学習を認識する第1歩としての、
「窓口(入口)」として機能しようとしている。

その「窓口来訪者」の市民が経験した事や、考えている事を伝え合う(伝え&聞く)場としての
“しゃべり場”へ参加してもらえるようになる!!
そこから少しレベルを上げ(密度を濃く)た「伝え部」による“経験伝授”へと、
展開していく、市民による市民のためのセミナーです。
この3本柱を総称して『りぶら市民セミナー』として、
りぶらの「新たな文化」として創り出していこうとする研究事業(プロジェクト)です。
みなさん、ぜひ一歩を踏み出してみましょう!!



6月4日(金)のなごやかな「しゃべり場」の様子



「奈良」というテーマで、参加者が持ち寄った資料。

次回の「しゃべり場」のご案内 (雑談会 第6弾)

8月6日(金)14:00~16:45

会議室303 申込・会費不要

- ・日々の過ごし方を伝え合おう!
- ・俳句・川柳・短歌・詩などを楽しもう!

“窓口案内”と“ひざ掛けづくり”

7月8日(木)・8月12日(木)

りぶら活動コーナー

窓口案内: 10:00~16:00

ひざ掛けづくり: 10:00~14:00

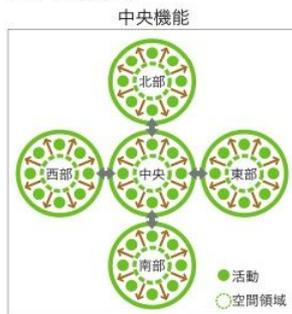
りぶらまつり2010

今年もやります「りぶらまつり2010」。今回は11/13(土)・14(日)に、図書館まつりと合同で実施。6月に募集した実行委員の皆さんと、月1回のペースで実行委員会を開催し、皆さんのアイデアと創意でつくりあげていきます。お楽しみに!

●りぶらまつりの目的 “りぶら de つながりんぐ”

Libraの2つの顔

1 市内各地の市民センターや地域交流センターで起こっている地域固有の多様な取り組みを束ねる中央機能。



2 Libraの「図書館」、「活動支援（生涯学習／市民活動／国際交流／男女共同参画）」、「文化創造」、「交流」という4つのテーマを束ねる複合機能。



りぶらまつり2010の基本コンセプト

「りぶらまつり2010」では、このLibraの「束ねる」機能を踏まえ、岡崎市民、岡崎で活動する市民活動団体・NPO、企業、行政等が一体となって、『地域の楽しみ方』と『Libraの楽しみ方』を自由に表現し、地域と人、テーマと人がつながるまつりを目指します。

●りぶらまつり 2日間の過ごし方(案)

11月13日(土)

9:00	ようこそ、りぶらまつりへ	入口で、参加者・入館者を迎える
10:00	オープニング@伊賀川階段	おだやかな中にも、笑いあいのオープニング
13:00	交流の時間	ざわざわ、にぎやかな雰囲気、時が過ぎる
16:00	大人の時間	ゆったり、ゆったりとLibraを堪能
20:00	終了	

11月14日(日)

9:00	ようこそ、りぶらまつりへ	入口で、参加者・入館者を迎える
10:00	2日目 スタート	わいわい、がやがやな、おまつりモード
13:00	りぶら de つながりんぐ	Libra全体をつないでいこう
15:00	未来のりぶらへ	子ども大人も、真剣に考えていこう
17:00	フィナーレ ~未来へつながりんぐ~	ど〜ん！な感じで
18:00	片付け	施設を傷つけず、始まりよりもきれいに



りぶらの歴史

図書室にいるのが好きな小学生だった。もちろん図書委員もやった。

ある日友だちが、「図書室にマンガがあるよ」と教えてくれた。探してみると、それは『のらくろ』だった。「図書館に置いてあるくらいだから、マンガとはいえ、なにかしら“いい”マンガなんだろう（“高尚”とか、“教育的な”とかいう言葉は思いつかなかった）」と、わくわくしながら読んでみた。が、当時の私にはまったく面白くなかったし、得るものも何もなかった。こども心に、『のらくろ』というマンガが図書室にあることが、不思議だった。

森下氏の講演を聞いて、あの図書室にも、「図書を選択して、蔵書を揃えて、いかに児童に読ませるか」を仕事としていた「誰か」がいたのだと思った。その「誰か」は、なぜ『のらくろ』を小学校の図書室の蔵書の一冊として選択したのだろうか？ 今からでも、聞けるものなら聞いてみたいものだ。

図書館には、その数だけ、図書館自身の歴史と物語があるようだ。りぶらは、その歴史がはじまったばかり。これから、どんな物語を紡いでいくのだろうか。ふと、今『のらくろ』を読んだら面白いだろうか、と思った。調べてみると、りぶらに蔵書があって、ちょっとびっくり!! 今度、りぶらに『のらくろ』がある理由を聞いてみよう。
(りん・むー)



「りぶらサポータークラブ」のご案内

図書館が好きな方、何かボランティアをしてみたい方、岡崎のまちが好きな方、文化や国際交流の発展を願う方など、いろいろな人が集まっています。りぶらサポータークラブを通じて、Libraをより身近に感じながら、一緒に、より魅力のある場にしていきませんか？

- Libraのサポーターの集まりです。
- 市民とLibraが協働して作り上げています。
- Libraがより活用されるよう考え、行動します。
- Libraでの利用者の活動をサポートします。
- 市民の生涯学習を応援します。

りぶらサポータークラブ・メールマガジンの登録はこちら↓
http://www.libra-sc.jp/official_organ/

●編集後記●

どんな方たちがこの『Libra I on』を読んでくださっているのだろうか、ちょっと気になります。vol.8でのアンケートは全くの不発に終わりましたが、「便りの無いのはよい便り」と解釈して、今年度も隔月6回の発行を予定しています。即時対応ができることがLSCの事業力でもあるので、取り上げて欲しい記事や取材先などがありましたら、お申し出ください。(e3)

会員募集

この会の趣旨に賛同し、お力添えをいただける方は、ぜひご入会ください。また、会の目的を達成するために、賛助・協力して下さる方々のお力が必要です。何卒、私たちの趣旨をご理解いただき、絶大なご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

- (1) 個人会員： 年会費 2,000円
- (2) 団体会員： 年会費 2,000円
- (3) 賛助会員： 1口 1,000円から（随時）

年会費の期限は4月1日から翌年の3月31日とし、賛助会費は随時受け付けます。年度途中の入会における年会費については、9月末日以降の入会をもって半額とし、納入された会費は、返却しないものとします。

Libra I on vol.10 2010/7/1発行 2008/11/1創刊
◆編集・発行 りぶらサポータークラブ 広報部
〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内
りぶらサポータークラブ事務局
TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142
info@libra-sc.jp <http://www.libra-sc.jp/>